

# *La Suno Pacifika*

## N-ro 305 2012年6月号

### Alta Klaso de TEK

ツキモリ セキ (東京)

皆様こんにちは。今回初めて *La Suno Pacifika* 誌面をいただきました。初回は、私たちがどのような様子で TEK にて学習しているかについてお話しします。

私が TEK の門を叩いたのは、2010 年 10 月 4 日のことでした。授業回数は今日までに 55 回ほどになります。当初は様々なことを話題にしていたこのクラスも、2011 年 9 月から、エジプト・ギリシャなど古代の地中海地域の歴史に的を絞るようになり、最近は古代ローマについて学んでいます。



メンバーは4人。大庭篤夫先生、山崎町子先生、セワ・ユゴフ君、私はです。セワとは2011年12月から合流して学ぶようになりました。彼は作文を作るのがとても早いです——日本語の問題文の漢字の読み解に少し苦労はしているようではあります。大庭先生の見解では、ヨーロッパ語話者は語順の面で苦労が少ないとのことです。ただし、単語の用い方や単語の派生については、セワよりも私のほうがよく知っているかなとも思います。この微妙な能力の差が、学習意欲につながっているように思います。

授業は2ページ弱くらいの教材を中心に進みます。教材は2つの部分からなります。音読・日本語訳の部分と、作文の部分です。山崎先生が音読と、作文の「問い合わせ」の模範を示し、生徒が日本語訳と、作文の「答え」を言います。その合間に大庭先生が関連する逸話を話してくださったりします。

驚くべきは、教材が大庭先生の手作りであるという点です。このように授業に力を入れているたいへん良いクラブに恵まれたこともあるって、どうにか通常よりも早いペースで追い掛けていくことができているようです。

さて、次回(があればですが)は、エスペラントをどのような場面で使っているのかお話しできればと思っています。ここで一例を挙げておきますと、私は、今年7月のベトナムの国際青年大会に参加します。まだ参加は間に合うと思いますので、一緒に行ける方を募集します。大会情報はハノイの実行委員会のページ [ijk-68.hanojo.org](http://ijk-68.hanojo.org) にてご参照ください。この件に関しては、JEJ(日本青年エスペラント連絡会 [www.jej.jp](http://www.jej.jp))も全面的にバックアップしてくれると思います。

それではまた La suno pacifika 誌面でお会いしましょう。

## 2012年 6月号／ENHAVO

Alta Klaso de TEK	月森 哲・・・1
エスペラントの散歩道(1)	大庭 篤夫・・・3
第96回エスペラント世界大会—来るべき時がきた—	新井 陽一・・・6
Somera Esperanto-Kunveno	編 集 部・・・9
イギリス豪華客船・タイタニック号(1)	編 集 部・・・10
2012年5月 Ora Kunsono	山崎 町子・・・12
2012年7月 Ora Kunsono (予告)	大庭 篤夫・・・13
世界の料理(56)	ノヌ 明子・・・14
TEKのページ	編 集 部・・・16

Saluton ĉiuj! Ĉi-foje estas mia unua aperigo sur La Suno Pacifika.  
 Ĉi-monate mi volas skribi pri nia kurso en TEK.

Estis la 4-a de oktobro 2010, ke mi venis al TEK. De tiam mi partoprenis en la lecionoj ĉirkaŭ 55-foje. Tiu ĉi kurso, kiu traktis diversajn aferojn en la fruaj lecionoj, lastatempe de la septembro 2011 koncentriĝis al la historio de antikvaj mediteraneaj landoj, ekz. antikvaj Egiptio, Grekio ktp. Nuntempe ni lernas historion de antikva Romio.

Kursanoj estas kvar : d-ro A. Ooba, s-ino M. Yamazaki, Seva Yugov kaj mi. Kun Seva, mi kune ekfornis Esperanton de decembro 2011. Li tre rapide faras frazojn; li iom penas legi ĉinajn ideografiajn en la demandoj skribitaj en la japana. Laŭ la doktoro, por eŭroplingvanoj vortordo estas preskaŭ senpena. Tamen mi supozas, ke mi pli bone scias ol li vortuzojn kaj derivadojn de vortoj. Ni havas meriton respektivan. Do tio ekscitas nin.

La kurso iras laŭ materialo, kiu malpli ol dupaĝa. Ĝi konsistas el du partoj. Unu estas voĉlegado kaj traduko en la japanan, cetera estas fraz-farada parto de demandoj kaj respondejoj. Sinjorino montras ekzemplojn de la voĉlegado kaj la demandoj, kaj lernantoj montras japanan tradukon kaj respondon. Intertempe de tio, doktoro rakontas al ni la anekdoton rilate al la temo.

Estas mirinde, ke ĉiuj materialoj estas manefaritaj de la doktoro. Dank' al tiel bona klubo, mi do povas sekvi aliajn esperantistojn.

En la sekvanta fojo (se ĝi estos) mi rakontos, ke en kiu sceno mi utiligas Esperanton. Ekz. mi partoprenos en la vjetnama IJK en la julio. Vi probable ankoraŭ povas aliĝi. Do mi volas kolekti kunirantojn. Pri la kongreso referencu : ijk-68.hanojo.org. Pri la afero ankaŭ JEJ (Japana Esperanto-Junularo : [www.jej.jp](http://www.jej.jp)) prizorgos.

Do, Ĝis la venonta Suno Pacifika!

## エスペラントの散歩道（1）

大庭 篤夫（東京）

TEKでは今年の1月より「上級クラス」を開設している。月森哲君が非常に速く進歩したので、上級クラスでロシア人のユコフ君と一緒に授業をしている。授業は全てエスペラントで行われる。ヨーロッパのエスペランチストと話をするのにヨーロッパの歴史の知識は役立つと思われる。そこでエジプト、ギリシャを取り上げ、今ローマについて検討している。その中にいろいろな面白いことに出会う。この「エスペラントの散歩道」の欄では、エスペラントに関するさまざまのことを取り上げたいと思うが最初にこの上級クラスの中に出でてきたことを述べる。

### ○ ローマ人とギリシャ人そしてアメリカ人

科学や数学の原理を追及すことにかけてはギリシャ人は優れていた。三平方の定理等は、オリエントにおいてより早く知られていた。しかし証明ということはギリシャ人の独創である。これは論理的思考ということに寄与する。ローマ人はこれに対して実際的であるとよく言われる。確かにアテネもスパルタもローマも最初は規模のそれほど大きくない都市国家であった。しかしローマは、都市国家の規模を超えて発展した。それはローマは王国、共和国、帝国という風にその規模の

応じて政治の方法を変えていった。蝶が、卵から青虫になり、サナギになり、そして最後に蝶になるようにその姿を変えていったのである。ローマは規模が大きくなつたのでヨーロッパに与えた影響は大きい。

ローマ人は全てをローマ人だけで行おうとしなかつた。能力のあるあらゆる民族出身の人々を活用した。この点はアメリカに似ている。アメリカは、ベトナム戦争で疲弊した。しかし金融とITで再び繁栄した。金融はリーマンショック後、必ずしも繁栄しているといえないが。ITのメッカであるシリコンヴァレーでは外国人が活躍している。ジュリアス・シーザーは、ローマ人が他民族から学ぶことを拒否しないし、それが優れていれば、敵からもそれを模倣するといった。例えばカルタゴをローマは徹底的に滅ぼしたが戦闘方法については学んでいる。

アメリカは、自国の大学に多数の外国人をひきつけている。日本でも外国人の留学生のことを考えて、東京大学は、秋入学に変えるという。桜美林大学は、特に大学院では、春と秋に入学できる制度を 10 年前くらいから行っている。

ローマ人は、インテリといわれる人は自国の言語、ラテン語と哲学や文芸に優れたギリシャ語を学んだ。この点はアメリカと異なる。アメリカの大学生は外国語を学ばないようだ。90%以上の学生が外国語を学ばない。おそらく英語はすでに国際語であるから学ぶ必要がないと思っているのであろう。その点ローマ人とは大きく異なるわけである。

## 勝利の人

名なく位なし  
しかれども  
確実に勝利の人なり  
不遇に生まれ  
不遇に生き  
ついに不遇に眠れり  
しかれども  
確実に勝利の人なり  
直く清く彼の道をあゆめり  
永遠に勝利の人なり

生まれたからとてちやほや言われたわけでなく  
生きている間にも、黙々として働き、有名にも  
ならず、これという成功もせず、近親と友人に  
惜しまれて、静かにこの世を去ってゆく。ここ  
に「直く清く彼の道を歩いた」人生の勝利者がある。

(後藤静香「天よりの声—権威のこころ—」  
新生会後援会、昭和54年9月30日発行)

☆ ☆ ☆

## 第96回 エスペラント世界大会

来るべき時が来た

新井 陽一

読者のみなさんは一昨年のポーランドのヴァレストークでの世界大会を紹介させていただき3回目の投稿となります。みなさんは想像できますか。世界中から集った人たちを前に外国語でレクチャーし、その後の質疑応答で、出席者各自かられっきとした、立派なご意見をいただくということが。それは素晴らしいことです。

日本の指導者、政治家は国際関係という二言目には日米関係の強化といいます。後藤静香先生の長男・潔さんも日米学生会議で活躍されていました。小沢一郎氏の草の根交流も日米間に限定されています。確かにエスペラントの創始者・ザーメンホフが生まれたときには、同じ村に色々な民族の人たちが一緒に生活をして、いさかいが絶えなかつたという事情から出発されましたが、この理念は現代世界にとっても和平ということに関しては、貢献しているものだと考えます。

日米関係について言えば、英語を使っている限り、アメリカが主人ならば日本が従者という感がぬぐいられません。またこれはアメリカだけを対象としていて、エスペラントのように世界を網羅しているものではありません。特定の国が、たとえば英語を使うことによりアメリカが優位に立って、弱小国が不利な立場にたたされるのは好ましくありません。

先ほどのレクチャーの話ですが、三好銳郎さんの場合もそうでした。話題はコンピュータによるフェイス・ブックの話でした。終了後私は意見を述べた人々にインタビューしま

は実に貴い時代であります。随分人の知らない苦痛を嘗めたこともあります。人生の荒浪はこの短日月中に幾度か私の家庭を丸呑みにしようとしたしました。かれはその間に立てて忠実に私の力となり、着々と切り抜いて遂に勝利を得ました。

須美はよく犠牲の精神を解し、美衣を望まず美食を求めず、自己につける一切の欲情を制して心より私のために尽していました。今度流産したこと私が3週間の病氣中余りに心配し、また余りに私を悦ばせようとつとめ過ぎて無理をしたためであったかと思います。もしそうであるならば、かれは私を助けて自らを殺したのでありました。ヨハネ伝第十五章に次の聖句があります。

『人其の友の為に命を棄つる、之より大なる愛は無し』

かれはこの聖句を文字通りに実行しました。須美が私に対する最後の贈物は實にかれ自身の生命でありました。どうして、この死を追悼しこの贈物に感泣し、この生涯に尊敬を払わないでいられましょうか。私は左の聖句を葬列の旗に記してかれの生涯を説明することの結論に代えました。

『われ既に馳る（はし）べき途程（みちのり）を尽し既に信仰の道を守れり今より後（のち）義の冕（かんむり）わが為に備えあり』（テモテ後書第四章）

かれが母や妹に対してはどんなであったか。もうそれは何も申すまい。ただかれの永眠を我が実子にもまさって悲しんでいる老母があり、肉親の姉の如く追慕している妹のあることをご覧になってご推察を願います。5歳の須眞（すま）子、3歳の潔（きよし）は毎朝亡き母の写真の前に行って『母（かあ）ちゃんお早う』と丁寧にお辞儀をします。母なき子として育たねばならぬ両児の運命を思い、これを遺して去ったかれの心事を思うとき、男児と雖もまた断腸の思を禁ずることができません。しかし

『エホバ与えエホバ取り給うなり』（約百記・よぶき）

かれは神様から与えられたものでありますから、必要に応じて召し給うても私が不平を云う権利はありません。かれは私のものでなく、神様のものであります。また神様はどんな苦しい事柄をお与えになつても、それと同時にこれに耐え得る力をも与え給うこと信じます。

また真に世の人の友となり、弱き者、悲しむ者の味方となり眞の同情者となるために、自分自らがこの悲痛な経験をもつこともまた大切な資格だと思います。私がかれの生涯とこの経験とを通して学びました教訓によって、今一層熱烈に生徒を愛し、世の弱者に同情することができますならば、かれの短生涯もまた貴いものであります。

『一粒の麦地に落ちて死なずば只一つにてあらん。若し死なば多くの実を結ぶべし』

かれの一粒を多くの麦にかかる事は遺れる私共の責任であります。神様と皆様とのお助けによってこの責任を遂げたいと存じます。」（以下省略、記念録は34頁に及ぶ）

話す機会もできました。ヨーロッパに来たときには遊びに来い、とのことでした。エスペラントにはクロコディーリ（エス語で話すべき場所柄で自国語を話す）という語があり、これを嫌う人もいますが、エス語を通して色々な外国語勉強も大切なことかと思います。金曜日の晩には世界各国の歌と踊りが披露されました。司会は30年前にお世話になったキム・ヘンリックセンさんでした。舞台終了後インドネシアの民族衣装で踊ったデヴィさんとシトンブルさんに会いました。私は今の瞬間を大切にしたい。今この人と知り合いにならなければ、永久に会えないかもしれないから、今を大切に生きようと心がけています。カメラと名刺を常に持っています。二人にはインドネシアの自宅への行き方を教えられました。土曜の閉会式後東京エスペラントクラブの一一行はドイツ・エスペラント村ヘルツベーグに行きました。次の日は列車でゲッティンゲンに行きました。ここはグリム兄弟が教授として活躍したところです。その後最後の訪問地ミュンヘンに行きました。私は20年前にこの地でドイツ語を勉強したときエスペラントの集りに参加しました。ウリー・エンダーさんと20年ぶりの再会をはたしました。また、バイエルンの民族衣装を着た中学校の数学の先生エリザベス・ライカさんとも知り合いになりました。さらにヒルベルトさんのおかげで、トーマス・マンの住居も見ることができました。この間一日オーストリアのザルツブルクに列車で出かけました。ここも30年ぶりでした。モーツアルトの生家をたずねました。列車内では友人が作りやすく、この際もイタリアの人と知り合いになりました。

来年の開催地はベトナムのハノイ、2年後はアイスランドです。みなさんも一緒に参加してみませんか。



## Somera Esperanto-Kunveno (SEK)

2012年4月から東京大学に留学をしている Leo SAKAGUCHI 氏（ドイツ在住、今年の8月迄日本に滞在）の呼びかけにより、ヨーロッパで開催されている青年イベントをモデルとして、日本で Somera Esperanto Kunveno”を行うことになりました。

大会期間中は、講習会、ダンス、遠足、講演などの他、コンサートも行われます。

コンサートは、イゴール・ワシレフスキ (TEK所属／日本在住5年)を中心としたドイツから Jonny M (21才)も参加します。イゴールはポーランド在住時代から音楽活動を行っており、歌詞はすべてエスペラントです。ETERNE RIMA という名前でコンパクトディスクをフランスのヴィニール・コスモから出版しています。

コンサートは大会中の7月13日(金)に渋谷で予定されています。イゴールとジョニーはそれぞれ、1時間ずつの番組で、共通の歌としては、“Por pli bona mondo”(タイトル)を歌います。この曲は、作曲・イゴール、作詞・ジョニーによるものです。

尚、詳細は以下の通りです。日本で初めての試みです。多くの方々の参加をお願いします。

大会名：Somera Esperanto-Kunveno (SEK)

開催日：2012年7月13日(金)～7月16日(月)4日間

場 所：東京大学インターナショナルロッジ・白金台

コンサートは Ruby Room (渋谷) で 20:00～開催

参加費：¥6,000

主 催：SEK 実行委員会、日本青年連絡会

岩間響(代表)、Leo SAKAGUCHI、天野弥生、

Unika (Karesnomo/Koreino)、ZAKIROV Salikh、

Igor WASILEWSKI。月森哲、kaj aliaj、

## イギリスの豪華客船・タイタニック（1）

### ——エスペランチスト William Stead の精神——

Ian Fantom 著

抄訳：編集部

タイタニック（RMS Titanic）は、20世紀初頭に建造されたイギリスの豪華客船です。1912年4月14日、深夜に氷山に接觸し、翌日未明にかけて沈没しました。

犠牲者数は乗員乗客合わせて1,513人であり、当時世界最悪の海難事故でした。その後、映画化されるなどで世界的にその名が知られるようになりました。

タイタニック号にエスペランチストのウィリアム・ステッド氏が乗船しており、彼も船の沈没と共にその生涯を終えました。

現在のエスペラント運動では、ウィリアム・ステッドという名前は、エスペラントの歴史の単なる脚注であって、中心的ではありません。私は20世紀の70年代にロンドン・エスペラント・クラブの年取ったメンバーである、ハリー・ホルムズの話のおかげで、ステッドについて少し知識をえました。ハリー氏は1981年に発売された、自身の著書：「ロンドンが語んでいる。ロンドン・エスペラント・クラブの歴史」にもステッドについて以下のように述べています。

私は2003年にステッドについて情報を始めました。私は2004年の秋にイギリスのエスペラント協会が100周年を迎えるのでなにか良いアイディアを提案するように要請されました。疑いもなくステッドは、初期のイギリスの運動においてエスペラントの優れた広報者でした。私が情報を探したとき、私が以

前、想像したよりはるかに、彼が生きた時代に、有名だったことを確認しました。あたかも誰かが彼の名前を歴史から消し去ろうと意図したかのように、彼が広く知られていないことに興味がわきました。最近も調査を継続してより驚くべき情報を見つけました。

ステッドは、イギリスで、ジャーナリストとして様々なスキャンダルを明らかにすることによって有名になりました。タイタニックの沈没についてのインターネットの情報の串でウイリアム・ステッドについての広告ビデオを見つけました。インターネットでは、ステッド氏が演説することを示すサイレントビデオがありました。それには静かに演奏されているバックグラウンドミュージックもありました。

“タイタニックのもっとも有名な男性を見てください。彼の名前はウイリアム・トマス・ステッドで、友達の間に W.T.Stead と言います。彼は記者、心霊術者と世界中に知られている平和の伝道者です。ジョージ・バーナード・ショーとオヌカー・ワイルドは彼のもとで働きました。しかし、彼のジャーナリズムが革新的でユニークで恐れられてもいたのに、歴史は彼のことをほとんど覚えていません。

1895年6月6日には、彼は世界を震撼させた話を始めました。

それは非常に強力で、スキャンダルできわめてショッタだったので、大英帝国の基礎構造を脅かしました。彼はそれを「現代バビロンの処女の貢物」と呼びました。

(つづく)



W.T. Stead



### 5月のOra Kunsido(第26回)

5月は、久場さんが安価な飛行機のチケット発売に対し事故の心配について、桜井さんは元サッチャー首相を扱った映画“オレンジと太陽”を鑑賞。山口さんは巣鴨の地蔵通りを散策。山崎は、緑に藤・都忘れ・など紫の花が映える季節であると。久場さんは、アーミッショウという信仰を大事にし、質素なプレインピープルについて話された。移民当時の生活の方法を基本に、例えば電気は使わず、電話も家庭内にはない。四輪馬車バギーを交通の手段に使う。厳しいしつけで子供に忍耐を教える。農業と牧畜が基本的な生計の手段である。大庭先生は、アンコールワットは、世界遺産であり紙がなくまた戦争で史料が失われている。これに代わるもののが寺院などの石の柱、側壁などに刻まれた文字である。アンコール時代で最も栄えた時は9—12世紀迄である。フランスの植民地であったので遺跡の研究は、ジャン・コマリュやアンリ・マルシャルなどの保存官によって進められた。

(山崎)

## ヨーロッパの人名の特長

7月の Ora Kunsido

大庭 篤夫（東京）

われわれエスペランチストは、世界のいろいろな人とおつき合いをする。エスペラントは、ヨーロッパに生まれたし、世界大会の開催もヨーロッパが多いなどの理由から、ヨーロッパにエスペランチストが多い。そこで今回、ヨーロッパの名前をについて取り上げる。その他の地域の名前もまた取り上げる機会があるであろう。

### 1. ヨーロッパ人の名前の構成

有名な事実として日本人とヨーロッパの人とは家族と個人の名前の順序が逆である。エスペラントで antaŭnomo といわれて嫌だと思った人がいるかもしれない。その他に日本人にはなかった meza nomo もしばしばみかける。日本人も国際結婚すると名前も3つもつ子供が増えつつある。

### 2. ヨーロッパの名前のつけ方の変遷

キリスト教以前のゲルマン人、ラテン系人、スラブ系人の名前、十字軍の時代、宗教改革時代、市民革命から民族主義と時代が変化するとヨーロッパ人の名前も変化してきた。

### 3. ザメンホフの家族の名前など

Ludviko Lazaro Zamenhof, や父親の名前など

## 世界の料理（57）

ノス明子（ドイツ・ミュンヘン）

アンティル風サラダ

アンティル諸島

白菜のみじん切り	240g	レモン汁又はライム汁	スプーン2杯
中ぐらいの大きさのオレンジ	1個	きゅうりとトマトを刻んだもの	
りんご	120g	砂糖	好みで
シナモン	ひとつまみ	マヨネーズ	

オレンジの皮をむき、薄く輪切りにし、さらに食べやすい大きさに切る。

りんごをすり下ろす。白菜、オレンジ、りんご、シナモンを混ぜ合わせる。

レモン汁又はライム汁を加え、さらに好みで砂糖を加える。

良く混ぜ合わせたらサラダボウルに移し、きゅうりやトマトを飾りつける。

マヨネーズと一緒に食卓に出す。



### SALATO LAŬ ANTILA MANIERO

240 g da blanka brasiko,  
raspita  
2 mezgrandaj orangoj  
120 g da pomo  
pinco da cinamo

2 supkuleroj da citronsuko aŭ  
limedsuko  
tranĉajoj da kukumo kaj  
tomatoj  
sukero, laŭ gusto  
majonezo

### Antiloj

Senŝeligu kaj maldike, ronde tranĉu kaj pecigu la orangojn. Raspu la pomon. Intermiksu brasikon, orangojn, pomon kaj cinamon. Aldonu la citronsukon aŭ limedsukon kaj iomete da sukero, laŭ gusto. Kiam ĉio estas bone miksite, metu en salatpladon kaj garnu per kukumaj kaj tomataj tranĉajoj. Surtabligu kune kun majonezo.

パイナップル	1缶	砂糖
大き目のオレンジ	2つ	生クリーム
トマト	180g	レモン汁
塩、胡椒	好みで	アーモンド
レタスの葉		好みで

パイナップル、オレンジ、トマトを角切りにする。

それぞれの材料に砂糖をかけ、味がしみこむまで数分待つ。

材料を混ぜ合わせアーモンドを加え、小皿又はレタスの葉を敷いたフルーツ皿にサラダを入れる。

生クリーム、レモン、砂糖を混ぜ合わせ、好みで塩、胡椒も加える。

サラダにクリームをかける。



### SALATO LAŬ JAPANA MANIERO

Japanujo

1 ladskatolo da ananaso	sukero
2 grandaj oranĝoj	2 supkuleroj da kremo
180 g da tomatoj	$\frac{1}{2}$ supkulero da citronsuko
salo kaj pipro, laŭ volo	kelkaj migdaloj, pecetigitaj, laŭ volo
laktukaj folioj	

Kubigu la ananason, oranĝojn kaj tomatojn. Sukeru ĉiu ingrediencon aparte, lasu dum kelkaj minutoj por sorbiĝi. Intermiksu tiujn, aldonu la migdalojn, miksu, kaj metu sur teleretojn aŭ fruktglasojn kovritajn per laktukaj folioj. Miksu la kremon kun citronsuko kaj sukero, kaj laŭdezire, iomete da salo kaj pipro. Garnu la teleretojn per tio.

## TEKのページ

### ☆ Argenta Kunsido

7月の Argenta Kunsido は以下となります。

日時：7月 6 日（金）18:00—19:30

Parolanto: Bharat Ghimier

Temo: " Pri Nepalo kaj Nepala Esperanto-movado"

Kotizo: 300 enoj (Kun biero aŭ suko)

### ☆ 7月の Ora Kusido

7月 17 日（火曜）午後 2:30～4:00

場所：TEK 事務所

参加費 300 円 (Biero aux suko)

Parolantoj: S-ro 久場俊男、大庭篤夫他

[編集後記] 当誌 2012 年 4 月号に「将棋に秀でるためのポーランド人の努力」の記事を掲載しまし

た。その後、読売新聞に再び以下の記事が掲載されました。「ポーランド人の大学生一女流棋士を破るー」：第 2 期女流王座戦一次予選が東京で行われ海外招待選手として出場したポーランドの大学生カラリーナさん（20 才）が 1 回戦で高野佐知子女流 3 段（41 才）に勝ち外国籍の女性が公式戦で女流棋士に勝ったのは初めてだそうです。

4 年ほど前に日本の漫画に興味を持ちインターネット対局で腕を磨いていた。将来は女流棋士を目指したい、と抱負を語った。（読売新聞 6 月 9 日、桜井信夫氏提供）



発行所：TEK LASuno Pacifika 2012年6月号／6月25日発行  
160-0023 東京都新宿区西新宿 7-1-7 ダイカんプラザ A 館 419 号室  
電話：03-3364-4957 FAX: 03-3364-0504  
編集発行人：大場滋子、NOSS 明子、Igor Wasilewski  
会費（1年間）：贊助会員A（¥10,000 以上）、贊助会員B（¥6,000 以上）  
正会員（¥3,000）、購読会員（¥2,000）  
振り込：東京 00130-6-181481 (東京エスペラントクラブ)  
TEK-mail : [ZTD02737@nifty.com](mailto:ZTD02737@nifty.com)  
TEK ホームページ : <http://sites.google.com/site/tokioesp/>

【文中、E はエスペラント、E-tiste はエスペランチストを意味します】